



2023年5月30日

各 位

会社名 株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド
代表者名 代表取締役社長 兼 CEO/CFO 瓜生 憲
(コード番号 4436 東証グロース)
問合せ先 経営管理本部 執行役員 前田 陽介
(TEL : 03-6867-1531)

取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、取締役会（任意設置の指名、報酬委員会を含む）の実効性向上のため、その課題を抽出し、改善状況を継続して確認することを目的に、2020年3月期より、取締役会の実効性に関する分析・評価を定期的に行っております。今般、2023年3月期を対象期間に実施しましたので、下記のとおり、その結果の概要をお知らせいたします。

記

1. 分析・評価の方法

全ての取締役（監査等委員を含みます。）において下記要領にてアンケートによる自己評価を実施し、その結果を基に取締役会において議論いたしました。

<アンケートの評価項目及び回答方法>

評価対象期間： 2023年3月期

回答方法： 各評価項目につき4段階評価、及びフリーコメント

- 評価項目：
- ① 取締役会の構成に関する事項（規模、構成等に係る4項目）
 - ② 取締役会の運営に関する事項（頻度、資料、審議時間等に係る8項目）
 - ③ 取締役会の議題に関する事項（議題の選定、内容等に係る12項目）
 - ④ 取締役会を支える体制に関する事項
(情報共有・連携体制、トレーニング等に係る9項目)
 - ⑤ デジタルトランスフォーメーション（DX）化に関する事項
(DX推進の枠組み及び事業への落とし込み等に係る8項目)

2. 分析・評価結果の概要等

上記に基づく分析・評価の結果、当社取締役会は、業務執行機関及び監督機関として有効に機能しており、取締役会の実効性は確保されていることを確認しました。

また、今後の主な課題として、取締役会の議論の深化及びデジタルトランスフォーメーションに対する取り組みが認識されました。取締役会での議論につきましては、中期経営戦略や当社グループを取り巻く事業リスクへの対応力強化等、当社グループの持続的な成長と企業価値向上の実現に向けた、大局的中期的議論の深化が必要であること、係る議論の実効性を担保するため、執行サイドから取締役並びに取締役会への適切な情報共有が重要であることを確認しました

当社の取締役会は、上記の評価結果を踏まえこれらの改善をはかることにより、今後も当社グループの持続的な成長及び企業価値向上の実現に向け期待される取締役会の実効性向上に努め、当社グループの持続的な企業価値向上に資するよう取り組んでまいります

以 上